

## 高校魅力化の仲間と予算を獲得するためのメモ

### ——地域との協働による地域課題解決型学習の学習方法と効果

このメモ（は、高校魅力化にかかわる説明や書類作成を行う人が、高校魅力化の目標や成果を検討するための一助になることを願って作成する。

このメモは「生徒にとって無くてはならない高校」、「地域にとって無くてはならない高校」を作るために、地域人材育成研究会の経験をもとに作成する。

**【財政的・人的資源の獲得のために】** 高校魅力化は歴史が浅く、意義を理解してもらうことに苦労することが多い。他でもやっているみたいだよ、島根県ではうまくいっているみたいだよ・・・などの説明では首を縦に振ってもらえない。予算獲得や仲間集め、協力者集めには高校魅力化の意義や成果を伝えることが必須である。メモの中から、ご自身の取り組みの強みを選び取って説明に利用していただきたい。

**【取り組みのチェックリストとして】** このメモは取り組みや企画を計画したり、振り返ったりするときのチェックリストとして利用することも想定している。強みを生かし、課題を意識しておくために利用していただきたい。

**【高校魅力化の再発見の資料として】** 高校魅力化や地域と高校の協働による学習の意義と可能性に疑問を感じたときに、意義と可能性を再発見するきっかけとしてこのメモを利用していただきたい。

なお、現状ではこのメモは過度に具体的であったり、過度に抽象的（教育学的）であったりする。読み取りに困難を感じることもありえる。申し訳ありませんが、そうしたときには、ぜひ教育と行政、産業、地域の関係者が一緒に考え、話し合うきっかけにさせていただけると幸いです。

#### 1. 基礎、応用、探求の側面

生徒の普遍的な能力の側面での学習目標、学習効果として、次のような項目が取り上げられることが多い。新しい大学入試で求められる学力であり、私見では大学で役に立つ学力でもある。

##### 1-a. 課題解決型学習スキル

情報収集、課題発見力、整理分析力、発信力（表現力、自己表現能力）、自発性（自ら学びに向かう力）、自律性、創造性（価値を創造する能力）、

### **1-b. ジェネリックな能力**

- ・ロジカルライティング（論理的文章が書け、意見を分かりやすく伝えられる）
- ・クリティカルシンキング（何かを読んだり聞いたりする時に多角的に吟味できる）
- ・データベーストシンキング（客観的な根拠の作り方、情報を的確に読み取る）

### **1-c. 人間関係スキル**

共感的理解力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、議論力、合意形成力、コーディネート力、

### **1-d. 参考：高大接続改革答申で示された学力**

- ・学力の3要素（知識・技能\*、思考力・判断力・表現力\*\*、主体性・多様性・協働性\*\*\*）
  - \*何を理解しているか、何が出来るか、
  - \*\*理解していること・出来ることをどう使うか、
  - \*\*\*どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

## **2. キャリア教育にかかわる学力**

高校魅力化で取り組む学習は地域学校協働学習であることが多く、地域社会への貢献、地域の産業への貢献をめぐって行われることが多い。それらは生徒の将来につながる学習であり、必然的にキャリア教育の要素が含まれることになる。

- ・興味関心や得意不得意、価値観など自分自身を理解する力
- ・自己実現に向けて取り組む力
- ・学校の学習と社会とを関連付ける力
- ・生涯にわたって学び続ける意欲
- ・社会人としての基礎的資質・能力
- ・自然体験、社会体験等

## **3. 非認知的能力の側面**

動機付けや態度・意欲・関心にかかわる側面の人間能力であり、通常は学力とは見なされないが、生徒の誰かを見て「成長した」と感じるのはこの側面であることが多い。

- ・自己開示力
- ・チャレンジ精神、
- ・社会関係資本形成力、人間関係形成力、
- ・起業家精神
- ・感情・情動への対処力
- ・自己統制力（上記を含むが、忍耐、自律なども含まれる）

- ・行政や大きいもの、つよいものからの脱依存心と自立心
- ・共感力、
- ・自尊感情
- ・脱産業主義、地域主義的社会観や人間観
- ・実態のある（に裏打ちされた）達成感や自己肯定感

#### **4. 地域を育てる学力の側面**

普遍的な能力や学力、社会観、人間関係を地域の具体的な状況の中で地域の実情に合わせて発揮する学力である。

##### **4-a. 地域主義**

- ・グローバルな視点と能力、グローバルな視点と能力、ユニバーサルな視点と能力
- ・地域外との橋渡し能力、語学力・ICT等の資質と能力を育成する。
- ・地域課題発見力又は地元地域課題発見力
- ・あるもの探し力・可能性を知り働きかける力
- ・地元地域版にカスタマイズした学力の3要素
- ・地域を好きになり、地域の人が喜ぶこと、地域が良くなることが自分の喜びと感ずる感性
- ・地域内の社会関係資本の蓄積と社会関係資本形成能力の育成
- ・地域参画や地域貢献のやりがい、楽しさの体験、内在化

##### **4-b. レリバンズ=つながり**

- ・教科間のつながり、教科と自分のつながりを知る
- ・高校の学びと自己や社会がつながっていることの意識化
- ・高校の学びと将来の地域でも生活がつながっていることの意識化

##### **4-c. ふるさと愛・地域愛・誇り・当事者意識**

- ・地域の豊かさを知り、誇り・愛着が高まる
- ・地域への誇りの形成
- ・原体験（地域の自然、社会、文化等の風土、感性、情緒等）
- ・脱依存（他者に頼るのではなく自ら参画・行動、課題への当事者意識
- ・仲間や多世代の方々と協働して取り組む
- ・社会のために役立とうとする意識
- ・地域活性化への参画意識・貢献意識
- ・定住人口志向（Uターン）を高める
- ・関係人口志向（外から支え、応援する志向）を高める
- ・地域人材（定住人口、関係人口）の定着・流入・還流を支え彼ら彼女らと（を）連携する力
- ・地域内よそ者使い・よそ者使い（U&Iターナー者への対応力、関係人口への対応力）

##### **4-d. 起業**

- ・情報収集力、分析力、構想力・企画力、運営力・突破力、評価する能力
- ・あり合わせ料理力（あるもの探し）
- ・＜仲間作り＞
- ・人材を流入、環流、定着させる能力←地域内よそ者、よそ者使い
- ・コンソーシアム組織力・活用力、
- ・地域協働組織力・活用力（自分を生かすことで地域を生かす、地域を生かすことで自分を生かす）
- ・地域の可能性の認識
- ・地域ならではの新しい価値の認識
- ・地域資源としての制度や人間関係による支援の認識と活用
- ・失敗から学ぶ力

## 5. 方法

推進委員会の量

### 5-a. 地域との協働の体制

- ・コンソーシアムの構成団体の量、多様性、適切性
- ・コンソーシアムの情報収集力と分析力、構想力
- ・運営指導委員会の情報収集力と分析力、構想力
- ・地域協働推進委員会の量的・質的向上
- ・地域活性化に参画する人との協働

### <5-b. 授業の工夫>

- ・地域をフィールドにした学び、
- ・解決策を考えるだけでなく提言・実践する
- ・ビジョン会議の開催
- ・Society5.0の活用力を高める体制の構築
- ・グループワーク等の手法・プロジェクト型学習の手法
- ・論文コンクールや各種のコンテストへの参加
- ・生徒の他地域生徒との交流
- ・生徒の授業外の高校地域協働への主体的な参加
- ・高校生視点の課題発見・課題設定
- ・高校生視点のビジョン会議
- ・高校生視点・方法の活動

### 5-c. 研究授業・研究発表

- ・教育講演会やフォーラムを開催す
- ・カリキュラム開発研究会・交流会の開催

- ・研究授業・研究発表会の実施
- ・研究授業・研究発表会への地域住民や他校関係者の参加呼びかけ
- ・教職員研修の量的・質的向上
- ・外部講師による授業回数、研修回数
- ・研究の取組を発表する機会